

血対ID	受理日	番号	感染症 (PT)	出典	概要	新出文 献
70107	2007/09/ 21	70537	G型肝炎	Epidemiol Mikrobiol Imunol 2006; 55: 136-139	チェコ共和国における静注免疫グロブリン(IVIG)投与患者の血清中におけるHGV陽性率を調査し、HGV陽性に関係したリスクを検討した。IVIG投与患者86例の内20例(23%)が、HGV RNA陽性であった。その内3例には肝機能検査値の緩やかな上昇が認められ、また1例は慢性リンパ性白血病であったが、IVIG投与前に診断されていた。IVIG投与患者のHGV感染率は高いが、肝疾患又はリンパ増殖のいずれの兆候とも関連していないと結論付けられる。	
70143	2007/10/ 26	70679	HIV	Clin Infect Dis 2007; 45: e68- e71	ボツワナで急性HIV-1感染スクリーニング中に特定された抗体陰性のHIV-1サブタイプC感染の初の症例を報告する。HIV-1抗体検査の結果は、迅速検査、通常の酵素免疫測定法及びウエスタンブロットで全て陰性であった。遺伝子組換えがないHIV-1サブタイプC感染は、ウイルスのgag、pol及びenv遺伝子のジェノタイプングによって確定された。臨床的に安定した状態からAIDS関連死までの期間は約3か月だった。サブタイプCが優勢なアフリカ南部における血清学検査陰性HIV-1感染の調査の重要性が示された。	9
70165	2007/11/ 29	70768	HIV	Eurosurveillan ce 2007; 12(5): E070524.5 2007年5月24 日	AIDS最新号において、LikataviciusらはEuroHIV surveillance network によるヨーロッパの供血血液のHIV陽性率についての14年間のモニタリングデータを提示した。この分析は、1990-2004年のWHO欧州地域のデータが網羅されている。2000-2004年の10万供血中の平均HIV陽性率は西欧1.7、中欧3.4、東欧36.7であった。1990年以降の変化では、西欧で低下、中欧で横ばい、東欧では急激な上昇が認められた。	10
70103	2007/09/ 21	70533	HIV	FDA/CBER 2007年5月23 日	男性間性交渉者(MSM)からの供血に関するFDAの方針として、合衆国でAIDSの流行が始まった1977年以降は供血者として延期されている。MSMはHIV、HBVおよび他の感染のリスクが高いからである。米国赤十字によるとMSMのHIV有病率は一般集団の60倍、初回供血者の800倍、リピーター供血者の8000倍高い。HIV検査は非常に正確であるが、HIVには感染後もHIVを検出できないwindow期がある。FDAは受血者を守るため、科学的なエビデンスが得られるまで、この方針を継続する。	
70112	2007/09/ 28	70553	HIV	Lancet 2007; 369: 621-623	2002年の国連レポートや米国国家情報会議は、中国には約100~200万人のHIV/AIDS患者がおり、感染爆発の危機が迫っているとしたが、2006年までの生存患者数は65万人と見積もられた。感染規模の過大な予測から、中国では様々な問題が生じた。HIV/AIDS対策に多大な予算を掛けたために、喫煙、結核など他の健康問題への対策が十分ではなかった。中国でのHIV/AIDS対策はハイリスク地域を中心に行うべきである。	
70112	2007/09/ 28	70553	HIV	Lancet 2007; 369: 623-625	2006年末までに台湾CDCに13702名のHIV-1/AIDS感染者が報告された。2003年以降、HIV-1/AIDS感染生存者は急増し、台湾のHIV-1/AIDS感染者数は約3万人と推測され、台湾の感染率(2300万人中3万人; 1/767)は中国(13億人中65万人; 1/2000)よりも高い可能性が示された。リスク要因分析によると、静注薬物使用者の感染率は2005年には72.4%(2461/3399)であった。また垂直感染は2006年末までに19例が確定された。	